

# 学校図書館支援センター通信 NO.84

12月号

平成26年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 学校図書館には、たくさんの方々がいらっやいます！

市川市の学校図書館は、毎日、子どもたちの様々な学習活動や学校行事に活用されています。学校図書館だけでなく、市内にある公共図書館でも、子どもたちの学びや豊かな心の育成を支える活動が行われています。このような活動は、全国各地から注目を集めており、毎年、多くの先生方や図書館関係者の方が見学にいらっやいます。今回はその一部をご紹介します。（視察人数：2,142名 H10～H26.12現在）



### 福栄小学校・市民図書室 視察（11月5日）

神奈川県西湘地区教育委員会連合会、約40名が福栄小学校の学校図書館と市民図書室を活用した学習の様子を見学にいらっやいました。福栄小学校には学校図書館のほかに市民図書室があり、子どもたちは2つの図書館を活用することができます。この日は、担任と学校司書による図書を活用した調べ学習（ダンゴムシ）に、子どもたちは意欲的に取り組んでいました。



### 信篤小学校 視察（11月12日）

宮城県亘理町議会教育福祉常任委員会委員の皆様が、学校図書館を活用した国語の授業を参観されました。演技力豊かな学校司書のアニメーションの世界に引き込まれながら、楽しく授業が進められました。バラバラになったカードに書かれた物語をクラス全員で正しくつなぎ合わせる展開でしたが最後は全てのカードを正しく並べることが出来ました。

### 大学生・大学院生の視察（11月20日 第七中・26日富貴島小）

市川市には、教員や図書館司書を目指す大学生や大学院生が数多く視察に来ます。今年は東京学芸大学と筑波大学大学院の学生が来ました。第七中学校では、学校司書と司書教諭から話を聞き、富貴島小学校では公開研究会に参加しました。市川市の学校図書館活用に感銘を受けていたようです。将来、図書を通して子ども達と関われる素敵な先生になっていただきたいです。



### 富貴島小学校（11月26日）学力向上推進校公開研究事業

「豊かな心を求めて 一人ひとりの主体的な学びを育てる国語科学習～読書生活の向上を目指す言語活動の探究～」を研究主題として、授業実践を通じた研究の成果が発表されました。学年ごとに同一単元の中で展開時間を変えた授業が行われ、一つの単元の流れを授業を通して把握することができました。どの学習にも図書が有効に活用され、子どもたちの豊かな言語活動を育てていました。当日は市内外から100名を越える先生方が参加し、千葉大学教授 寺井正憲先生のご指導のもと、充実した研究会となりました。

また、毎回、授業展開前に教務主任によって行われる若年層教諭向けのガイダンスも好評で、「公開授業や指導案の見方等について理解を深めることができました」との感想が寄せられました。



### 読書講演会 富安陽子さん（10月28日）



「ムジナ探偵局」や「シノダ！」など、子どもたちに大人気のシリーズの作者である児童文学作家『富安陽子さん』をお迎えして読書講演会が開かれました。富安さんは、児童文学は15の場面で構成され1場面ごとにおはなしが進むことや、挿絵には文字に現れていないはなしの内容まで細かく表現されているということを説明してくださいました。幼い子は大人が気にならないような当たり前の事がとても気になるので、挿絵の中には矛盾がないように気を配っていらっやるのだそうです。子どもは大人とは違う感覚の中で生きているので、子どもの輝きに負けない作品を作り、子どもたちに「人と同じ物を見たときにたくさんの不思議を見付けて欲しい」とおっしゃいました。最後に、来年発売予定のまゆシリーズの最新作「まゆとかっぱ」を子どもたちに読んでくださり、富貴島小学校の子どもたちは、幸せいっぱいの笑顔を見せていました。



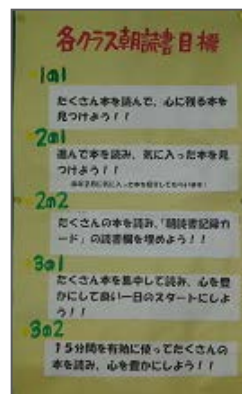
### 信篤幼稚園と信篤図書館との交流 週末は家庭で読書を！（11月21日）



市川市の公立幼稚園では、年長になると毎週末に家庭で読む図書を借りて帰ります。信篤幼稚園では、隣接している信篤図書館へクラスごとに図書を借りに行きます。図書館に着くと、自分で図書を選んでカウンターに持っていき、貸出処理をしていただきます。カウンターでは司書の遠藤さんがいつも優しく対応して下さいます。読み聞かせをして下さることもあり、子どもたちは図書館に行くのを楽しみにしています。信篤幼稚園は、園長先生の読み聞かせや保護者の方々のボランティア活動も盛んで、図書を通して豊かな人間形成が行われています。2月に行われる生活発表会でも、図書の中から選んだお話を劇にして発表をするそうです。



## 図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



私の学校図書館員としての原点は、小学校から中学校に勤務した時の想いです。それは、「児童生徒は早い時期に読書習慣を身に付ける事」そのために「読書環境を整える事」そして「先生方や子供達に信頼される事」の3つです。塩浜中学校は週4回、朝読書に取り組んでいます。貸出しや返却は図書委員が行います。図書委員の選書した本が学級文庫となり、この朝読書を図書委員会が支えています。クラスごとに朝読書の年間目標を設定し、読んだ本を「朝読書記録カード」に記録しています。こうした取り組みの継続が、塩浜中の生徒の読解力と心を育てています。市川市立塩浜中学校 学校図書館員 入間川 祥子

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

